

## 夏の締めくくりに踊る

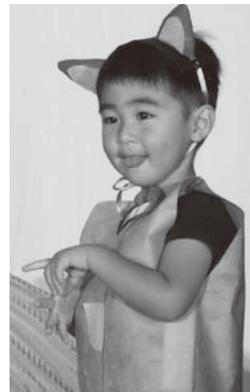


連合北海道占冠地区連合会主催の「納涼盆踊り大会」が、8月20日（月）に占冠村農村公園で開催されました。

会場には、この日のために様々な仮装を用意した参加者が集い、やぐらを囲んで踊りました。

短い夏もう終わり。これからは朝晩の寒暖の差が激しい季節となりますので、体調管理に気をつけましょう。

## 最高傑作をみんなで



9月8日（土）、「トマム学校トマム保育所合同学芸会」が、トマム学校で開催されました。トマム保育所のオペレッタで披露されたのは『3匹の子豚』。可愛らしい狼と子豚がステージ上でほほえましい演技を見せてくれました。トマム学校の



ミュージカル劇では生徒だけではなく先生も登場。トマム学校全員が一丸となって作り上げた劇を無事演じることができました。

同日、「占冠中学校学校祭」が、占冠中学校で開催されました。今年の学校祭のスローガンは、1年生の渡辺堅成君が考案した『最高傑作』。各学年ごとに、個性が光るバンド演奏やダンス、コントなどが披露され、生徒一人ひとりが精一杯演じきりました。

## 酪農学園大学 野生動物保全技術実習開催



村と「地域総合交流協定」を結ぶ酪農学園大学の教員と学生計15名が9月3日から同6日まで来村し「野生動物保全技術実習」を開催しました。占冠村が有する豊かな森林や充実した施設、林業や狩猟の貴重な技術資産を活用して、我が国の野生動物管理、研究の人材づくりを目指すものです。村と木質バイオマス生産組合が講師を派遣し、双珠別の双民館を拠点に年1回行っており、今年が6年目です。

実習では途中、台風の雷雨、地震、停電に見舞われながらも、地形図判読や測位測量法、夜間観察手法、ヒグマの痕跡調査、シカ解体、林業施業体験など、昼夜を分かたず12余の予定項目のほぼすべてをこなしました。学内では学べない現場ならではの経験、知見に触れられたものと思います。満天の星と遠雷の下で薪風呂に浸かり、食事は占冠産の野菜とシカ肉で自炊。忙しくも思い出深い4日間を過ごし、落伍者なく終了しました。実習生たちの今後の活躍を期待しましょう。

## 育てる喜び、食べてもらう喜び



▲『フィルダークラウト』とよばれる先端がとがったキャベツ



▲メープルシロップを使用した飲むお酢



▲かんぴょうの原料にもなる特大の夕顔（ゆうがお）

村内で収穫された新鮮な野菜を楽しむ「しむかっぷ村秋の収穫祭」が、9月2日（日）に占冠村農村公園で開催されました。

じゃがいも、トウモロコシ、ズッキーニなど様々な野菜が販売され、開始まもなく売り切れとなる野菜もありました。会場ではにんじんの無料配布も行われ、村民や観光客など多くの方が訪れました。

## 芸術の秋



村内児童生徒に舞台芸術の鑑賞機会を提供する巡回小劇場占冠公演が、9月13日（木）に占冠中央小学校で開催されました。今年の公演は、フランスで発祥した『ミュゼット音楽』。アコーディオンやふいご式の風袋がついたバグパイプの一種『ミュゼット』が奏でるメロディーは、舞踊を想像させ、聞き手を晴れやかな気分させてくれます。

最後に演奏されたのは、占冠中学校と占冠中央小学校の校歌をアレンジしたもの。児童はアレンジされた演奏による校歌を斉唱し、公演は盛況の下、終了しました。

## 不審者に備えて訓練



校舎内に不審者が侵入したとき、全児童生徒・教職員が速やかに安全な場所へ避難できるようにするための訓練が、9月13日（木）にトナム学校で実施されました。

参加者は、不審者が侵入したときの対応やさすまたによる制圧方法、外で不審な声をかけられたときにすべきことなど、占冠駐在所の長谷川所長より指導を受け、防犯に対する理解を深めました。